

2050年に小田急グループのCO<sub>2</sub>排出量実質「0」を目指した行動指針「小田急グループ カーボンニュートラル2050」を策定いたしました。本指針は、「環境ビジョン」「環境長期目標」「環境戦略」の3つの柱で構成しており、事業活動を通じたCO<sub>2</sub>排出量の削減や資源循環、自然資源の保全・活用等の環境課題に取り組む行動指針を示しております。

# 小田急グループ カーボンニュートラル2050

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

### 環境ビジョン

小田急グループは美しい地球環境と優しい社会を未来の世代に引き継ぐことを使命とし、事業活動を通じてCO<sub>2</sub>排出削減や資源循環、自然資源の保全・活用などの環境課題に積極的に取り組みます。



小田急グループが目指す2050年の社会(イメージ)

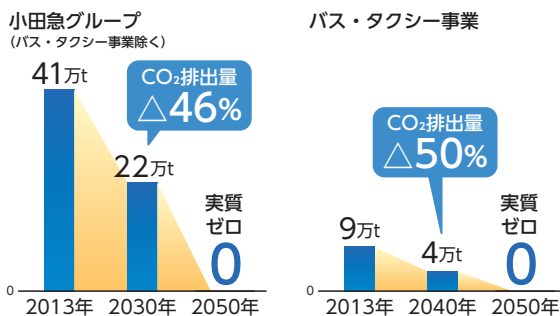
### 環境長期目標

小田急グループは2050年CO<sub>2</sub>排出量実質「0」をめざします  
その達成に向け2030年CO<sub>2</sub>排出量△46%(2013年比)をめざします

※バス・タクシー事業は、EV、FCVの普及や充電スタンド、水素ステーションの整備と連動するため2040年△50% (2013年比)をめざします

上記の環境長期目標達成に向けて、当社グループ事業のうち使用エネルギー量の多い当社鉄道事業では、通勤車両の更新等の省エネ施策を進めるとともに、エネルギーの調達段階において再生可能エネルギーの比率を高めるほか、太陽光等で創発した電力の活用も行っております。

### CO<sub>2</sub>排出量削減目標



### 環境戦略

新たな環境戦略では、気候変動問題をリスク・成長戦略の機会の両面で捉え、UPDATE1~3を策定し、取り組んでまいります。

#### UPDATE ① 脱炭素社会の実現



ロマンスカー50000形・VSE

##### ゼロカーボンロマンスカーの運行

2021年10月1日~2022年2月28日の間運行されるロマンスカー50000形・VSEは実質的にCO<sub>2</sub>排出量ゼロで運行されます(東京電力FIT非化石証書付電力を使用)。

#### UPDATE ② 資源循環社会の実現



リサイクルステーション・新宿駅

##### ペットボトルリサイクル

お客さまにキャップやラベルの分別回収を協力いただくことで、使用済みペットボトルを新たな飲料用ペットボトルにリサイクル。資源の循環サイクルを強化し、限りある地球資源の有効活用を目指します。

#### UPDATE ③ 自然保全と活用



「箱根の森から」と箱根旧街道杉並木

##### 「箱根の森から」による寄付

ナチュラルミネラルウォーター「箱根の森から」の売り上げの一部は「箱根町資源保全基金」に寄付され、箱根旧街道杉並木の保護対策、仙石原すすき草原保存事業等の箱根の自然環境保全に貢献しています。

## 気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)の提言への賛同について



当社は、事業活動により発生する温室効果ガスの排出抑制、地球温暖化による気候変動への対応が持続可能な社会の実現に向けた重要な経営課題であると認識しており、金融安定理事会(FSB)によって設立されたTCFDの提言への賛同を表明いたしました。今後、TCFDの提言に基づき、気候関連財務情報の開示を進めてまいります。

※TCFDは、気候関連の情報開示について検討するため、2015年に主要国・地域の中央銀行、金融監督当局、財務省等が参加する金融安定理事会によって設立されたタスクフォースです。その最終報告書では、金融市場の安定化を図るため、企業等に対し、気候変動が事業に与えるリスクおよび機会の把握と開示等を推奨しています。